

地域の皆さまに
愛される病院へ

黒部市民病院

KUROBE CITY HOSPITAL



院長挨拶

地域のみなさまへ



黒部市民病院は、昭和 23 年に開設されました。開院当初より大切にしてきた「日々念心（日々の業務に心を込め、常に向上心を忘れないこと）」という言葉は、今も私たちの原点であり、病院づくりの指針となっています。

これまで、私たちは新川地域の皆さまとともに歩みながら、健康を守るお手伝いをしてまいりました。診療の場だけでなく、介護・福祉施設との連携、行政との協働など、地域の中に根ざした活動を大切にしています。少子高齢化の進行や医療のデジタル化など、社会が大きく変化していく中でも、私たちは「地域の皆さんが安心して受けられる医療を提供できる病院」であり続けたいと願っています。

これからも、黒部のまちづくりの一員として、より良い地域医療の実現に努めてまいります。皆さまの笑顔と健康が、私たちの励みです。これからも変わらぬご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

令和 7 年 10 月

院長 辻 宏和

病院の概要

名称 黒部市民病院

所在地 富山県黒部市三日市 1108 番地 1
TEL (0765) 54-2211

開設 昭和 23 年 1 月 1 日

敷地面積 47,430㎡

延床面積 48,785㎡

病床数 一般病床 363 床（うち開放型病床 10 床）
結核病床 5 床
感染病床 4 床
計 372 床
併設介護老人保健施設 42 床

診療科目 内科、循環器内科、呼吸器内科、消化器内科、腎臓・リウマチ内科、糖尿病・内分泌内科、血液内科、感染症内科、漢方内科、脳神経内科、外科、消化器外科、乳腺外科、呼吸器外科、心臓血管外科、耳鼻いんこう科、小児科、産婦人科、皮膚科、眼科、整形外科、泌尿器科、放射線科、リハビリテーション科、脳神経外科、麻酔科、精神科、心療内科、歯科口腔外科、形成外科、臨床検査科、病理診断科、救急科

指定・認定 日本医療機能評価機構認定病院

地域医療支援病院

保険医療機関

労働者災害補償保険法指定医療機関

母体保護法指定医療機関

結核予防法指定医療機関

養育医療機関

生活保護法指定医療機関

指定自立支援医療機関（育成医療・更生医療）

地域がん診療病院

厚生労働省臨床研修指定病院（基幹型）

へき地医療拠点病院

感染症指定医療機関

救急告示病院

地域救命センター（2.5 次）

病院群輪番制病院（2 次救急）

新川医療圏小児急患センター

下新川一次急患センター

地域周産期母子医療センター

地域災害医療センター

（災害拠点病院）

DMAT 指定医療機関

（富山県 DMAT）

一次脳卒中センター



令和 7 年 10 月 1 日現在



病院憲章

にち にち ねん しん
日々念心

病院の使命は、完全なる診療を行うにある。

ために施設の充実、医療に関わる者の弛まぬ研究が必要である。
而も人齊しく、容易に医療を受け得るよう不断に工夫努力を払うべきである。

更には心の触れあいを通し、治療の完きを期し、
ここに従事するものは総て懇切丁寧を旨とすべきである。

病院の基本方針

良質な医療を保つ

- ・新川医療圏の救急・急性期医療を支える医療機関として5疾病（がん、脳卒中、心筋梗塞等の心血管疾患、糖尿病、精神疾患）6事業（救急医療、災害時における医療、新興感染症発生・まん延時における医療、へき地の医療、周産期医療、小児医療）を含めた幅広い疾患に対応するため、施設・設備の充実を図ります。
- ・病院スタッフは継続して自己研鑽を行い、病院はその環境作りのためにワークライフバランスの推進や教育・研修機能の充実を行っていきます。
- ・地域医療を引き続き提供していくために、経営の安定を目指します。

信頼を培う

- ・患者対応に最善を尽くし「患者さんとスタッフの信頼」を築くとともに、患者さんやご家族を含めた「チーム医療」を推進します。
- ・相手のことを考え・感謝し・安心して意見を言い合えるような「スタッフ間の信頼関係」を培います。
- ・地域の医療・保健・福祉施設と連携を密にし、切れ目のない医療を提供します。

安心の医療を届ける

- ・良質な医療を保ち、信頼を培うことにより、安心の医療を提供します。
- ・多様な人が容易に医療を受けることができるように、病院スタッフは一人一人が良識や使命感を持ちながら、考え行動します。
- ・自治体病院として、社会資本のひとつである医療を守り、住民生活を支えます。

令和5年5月11日
(令和6年4月1日改定)





ヘリポート

新川医療圏の基幹病院として

当院は、新川医療圏の2次救急病院として、365日24時間すべての救急搬送患者を受け入れています。

災害拠点病院、地域がん診療病院、地域周産期母子医療センター、へき地医療拠点病院、感染症指定医療機関などの指定を受け、医療圏の基幹病院としての役割を担っています。

新川地域 救命センター

富山県2.5次救急医療機関の指定を受け、脳卒中、急性冠症候群、頭部外傷患者や複数科にわたる重症者を受け入れを行っています。
救急患者は年間約14,000人、うち救急搬送は年間約2,700件です。



新川地域救命センター



手術室



MRI



がん診療

専門的な質の高い医療を提供するとともに、地域の医療機関と連携し、がんに対する医療水準の向上に努めています。

また地域の医療機関のがん医療従事者に対する教育・研修やがん患者さんに対する相談支援及び情報提供などを行っています。

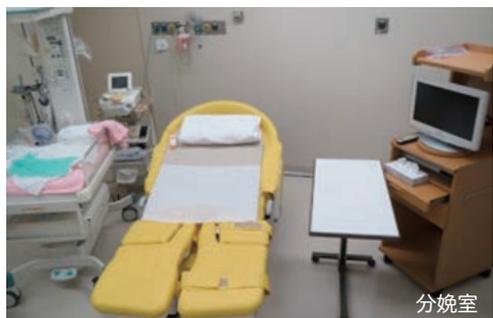


地域周産期母子医療センター

当院の地域周産期母子医療センターは平成9年4月1日に開設され、母と子供の医療の質を高めるため小児医療セッションと産科医療セッションの間にNICU（新生児集中治療室）を設置し、両科が緊密に連携することにより良質な周産期医療を展開しています。

当センターでは年間約400件の分娩（内約40件の無痛分娩）※を扱っており、産前教室やおっぱい教室、スクスク育児など妊娠期から分娩期、育児までの様々なメンタルヘルスケアサポートを行っています。

※4～6年度の平均分娩件数は409件、平均無痛分娩件数は44件



災害拠点病院

平成8年11月に災害拠点病院に指定され、屋上にはヘリポートを有しています。

またDMATを組織するとともに、大規模災害の発生に備え、災害診療の実施手順等を再確認するために、災害訓練を毎年実施しています。



高度医療への取り組み

新川医療圏の救急・急性期医療を支える医療機関として、より安全で患者さんの負担の少ない医療を提供するため、高度医療に積極的に取り組んでいます。



© Intuitive Surgical

手術支援ロボット da Vinci Xi の導入 (ダビンチ エックスアイ)

2023年6月に内視鏡手術支援ロボット「ダビンチ Xi」を導入しました。ダビンチは、患者さんの体に開けた小さな孔からロボットアームを体内に挿入し、カメラによって映し出される3D映像を見ながら、ロボットアームを操作して手術を行うシステムです。従来の開腹手術と比べ低侵襲で出血が少なく、患者さんの負担の少ない手術を行うことができます。また、ロボットアームは手ぶれの影響を受けず精密に動作することから、より正確で安全な手術を行うことが可能です。



ロボティックアーム 手術支援システム 「Mako」の導入 (メイコー)

2022年10月に人工膝関節置換術・人工股関節全置換術で、使用するMakoを導入しました。Makoとは、日本で初めて承認された整形外科におけるロボティックアーム手術支援システムです。

Makoはコンピューターでコントロールされ、骨の切除量を0.5mm単位の正確さで調整でき、手術前の計画をより正確に再現することが可能となります。また、治療計画にない（削る必要のない骨）部分にさしかかると自動停止する仕組みになっており、計画からはずれた動きを制御できることから安全性が向上します。





東病棟 3階
カンファレンス

患者さんにご家族から信頼されるチーム医療の推進

患者対応に最善を尽くし「患者さんとスタッフの信頼」を築くとともに、患者さんやご家族を含めた「チーム医療」を推進します。

相手のことを考え・感謝し・安心して意見を言い合えるような「スタッフ間の信頼関係」を培います。

緩和ケアチーム

緩和ケアチームは、からだのつらさだけでなく、こころや経済的なつらさなど、患者さんやご家族が困っていることについて、様々な職種が協力しながら解決を目指すチームです。

糖尿病診療チーム

糖尿病診療委員会が中心となって糖尿病教育にあたっています。

糖尿病診療委員会は医師、看護師、薬剤師、運動指導士、臨床検査技師、管理栄養士など多くの職種によって構成されており、糖尿病患者さんの自己管理と QOL 向上を支援しています。

栄養サポートチーム (NST)

栄養状態が低下すると、感染や病気とたたかう力が低下し、合併症を引き起こすなど、様々な弊害が起こります。栄養状態を良好に維持する事は、治療を進める上で非常に大切です。

NST は、患者さんの栄養状態を良好に維持し、また改善するための医療チームで、Nutrition (栄養) Support (サポート) Team (チーム) の頭文字をとったものです。

嚥下障害管理チーム

主に入院患者さんを対象として、嚥下障害の専門的な評価と訓練をおこなっています。

すべての入院患者は、それぞれの栄養状態や症状を考慮し、栄養の摂り方や食事・食材の内容を検討されていますが、嚥下ケアチームは、特につよい嚥下障害が疑われる方に対して、実際の嚥下能力を検査したうえで、その方一人一人にあったサポートを目指しています。



人材育成のための教育・研修機能の充実

病院スタッフは継続して自己研鑽を行い、病院はその環境づくりのために、教育・研修機能の充実を行っていきます。

臨床研修センター

臨床研修の特色

屋根瓦方式の指導体制を採用し、指導医や若手医師、先輩研修医の指導を受けながら研修します。また県外病院での地域医療研修を経験することも可能です。当院の過去からのマッチング率は高く、富山県内ではトップレベルです。金沢大学、富山大学を中心に多くの研修医を受け入れております。



外来診察の実習



研修医の米国への派遣



米国指導医からのレクチャー

国際医療交流

姉妹都市である米国ジョージア州メーコン・ヒブ郡のマーサー大学医学部及び Atrium Health Navicent と国際医療交流をしています。

毎年、研修医、看護師、その他の職員を研修のため米国へ派遣しており、医療の質、環境、教育体制、医療制度などについて日本との違いを自ら体感し、考える良い機会となっています。

また米国からは毎年、米国指導医2名と看護師2名を招聘しており、2週間ほどの滞在中に当院の視察やスタッフとの交流を深めています。米国指導医は、毎日のレクチャーや症例検討会を通して研修医の指導や意見交換を行っています。

看護師

新人教育体制

教育専従師長を配属し、新人から卒後5年未満の看護師まで、それぞれ年間プログラムに沿って研修を行っています。

新人看護職員は、入職時に1週間の集合研修で基礎的看護技術を習得してから職場に配属されます。その後は月1回の集合研修をプログラムに沿って実施し、スタッフ全員で研修を支援します。



集合研修



急変時対応



場面トレーニング



事例発表

2年目教育

卒後2年目は臨床看護実践能力の向上と専門職業人としての自立に向け、看護観を深める重要な時期です。月1回の集合研修では、目標管理、医療安全(KYT)、一次救命などをプログラムに組み入れ支援しています。

3～4年目教育

卒後3～4年目は「日々のリーダー」を任され、責任が増えます。リーダー育成研修、看護倫理・ナラティブ研修等、月1回の集合研修を行い、目標に向かってステップアップできるよう継続的に支援しています。

その他の職種である医療系大学や専門学校学生の研修や実習も積極的に受け入れています。



施設等のご案内

病室

当院の病室は、入院患者さんの生活の場としての居住性を高めるとともにプライバシーが十分保てる構造となっています。各病室にはトイレ・洗面・ロッカーが設置されており、特別室にはこのほか畳の間やシャワールームがあります。多人数病室については、4人病室までとしており、廊下側のベッドにも専用の窓を確保し、おのおの独立した眺望が可能となっています。



健康管理センター

健康管理センターでは、人間ドックや健康診断などを行っています。

基本的な健診項目は、ワンフロアで検査することができ、落ち着いた雰囲気の中かで健診を受けていただくことができます。

人間ドックのオプションとして、婦人科検診、肺CT、脳ドック、睡眠時無呼吸スクリーニングのほか、PET/CT コースをご用意しております。

各種サービス

患者さんやそのご家族などの利便性を図るために、当院1階に売店、レストラン、カフェを設置しています。



無料 Wi-Fi (Wi-Fi フリースポット)

当院では病院利用者へのサービスの一環として、施設の一部で「無料 Wi-Fi サービス」を提供しています。

お手持ちのスマートフォンやタブレット端末などの無線 LAN (Wi-Fi) 機能を持つモバイル機器で、インターネットをご利用いただけます。



黒部市民病院 院内マップ

玄関利用時間

正面玄関（平日）／7:30～17:00

※正面玄関からは午後9時まで、南玄関からは午後6時まで
院内から外に出ることができます

時間外・休日出入口／24時間

全館案内

東病棟

7F	東病棟7階
6F	東病棟6階
5F	東病棟5階
4F	東病棟4階
3F	東病棟3階
2F	東病棟2階
1F	-
B1F	

中央棟

西病棟・北棟

4F	東病棟4階	HCU(高度治療室)・中央棟4階病棟・手術室	(西病棟) 4A 健康管理センター
3F	東病棟3階	3A 通院治療室 講堂 3B 言語聴覚室 3C 臨床スポーツ医学センター	
2F	東病棟2階	2A リハビリテーション科 2B 産婦人科・女性専用外来 2C 眼科 2D 泌尿器科 2E 皮膚科・形成外科 2F 耳鼻いんこう科・歯科口腔外科 2G 精神科・心療内科 2H 腎センター	
1F	-	1A 小児科・呼吸器外科・心臓血管外科 1B 整形外科 1C 脳神経内科・脳神経外科緩和ケアセンター 1D 外科・消化器外科・乳腺外科 1E 内科(初診) 1F 内科(再診) 1G 中央採血室・中央処置室 1H 生理機能検査室 1J MRI検査・結石破砕室 1K 放射線科 1L 内視鏡センター 1M 薬剤科・お薬お渡し口 1N 時間外投薬受付 1P 時間外受付お見舞案内 1R 新川地域救命センター麻酔科・下新川一次急患センター 1T 新川医療圏小児急患センター	(北棟) 1W 地域医療支援センターがん相談支援センター カフェ・イトイン・レストラン 自販機コーナー・売店 (西病棟) 1U 感染症病棟 発熱外来・AI問診センター 総合案内・紹介患者窓口 入院窓口・書類窓口・授乳室 初診・中央受付・計算 請求書発行・会計 院外処方せんファックスコーナー 診療費支払機 総合相談室・入退院支援室 生活習慣療養支援室
B1F			(北棟) 核医学PET画像センター 放射線治療室



正面外観



正面玄関



南側外観



南側外観



時間外・休日出入口



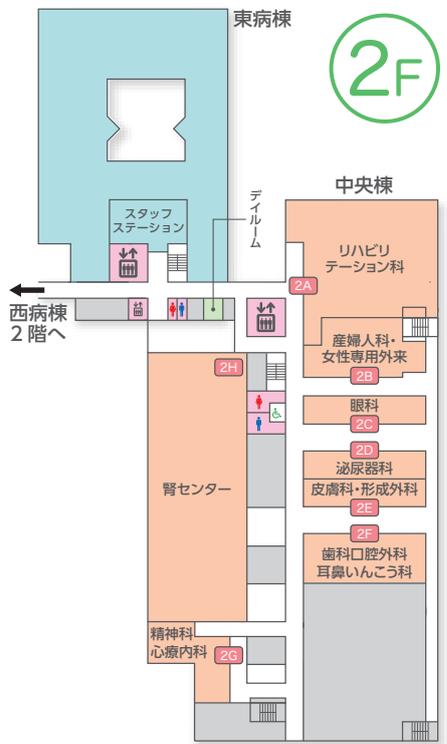
中央受付



外来待合

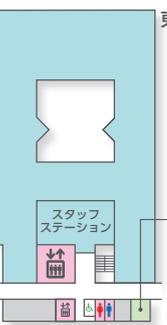
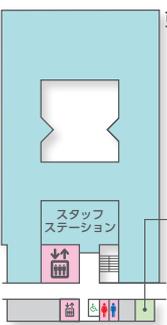
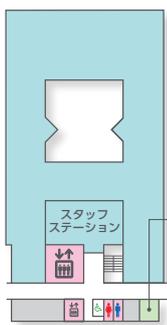
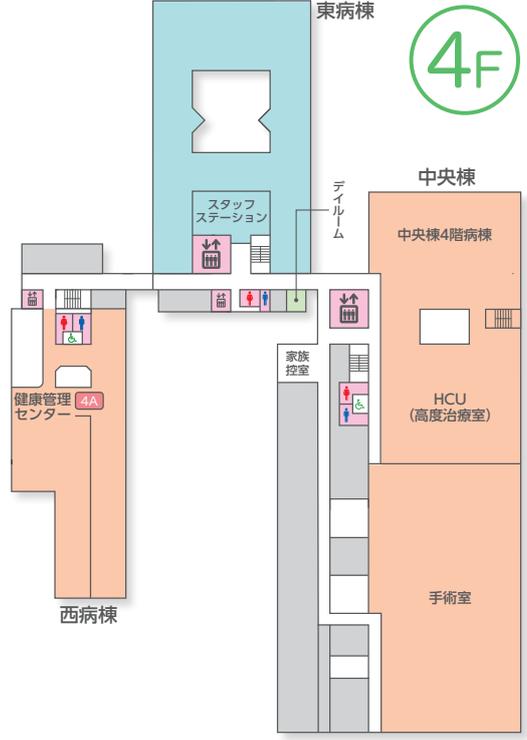
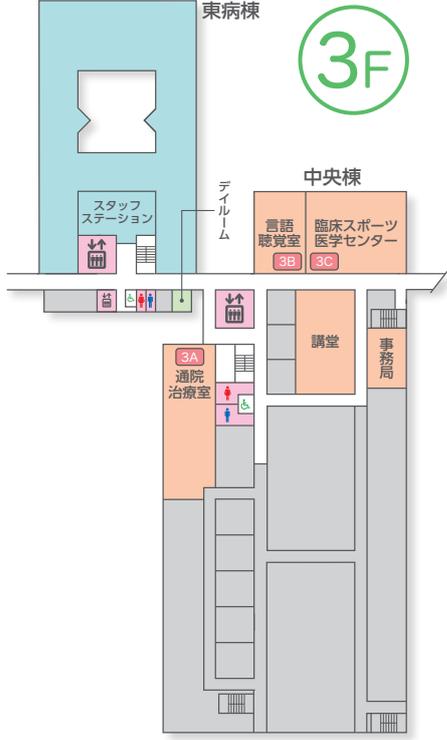


- ①初診・中央受付
- ②計算
- ③請求書発行
- ④会計
- ⑤院外処方せん
ファックスコーナー
- ⑥診療費支払機

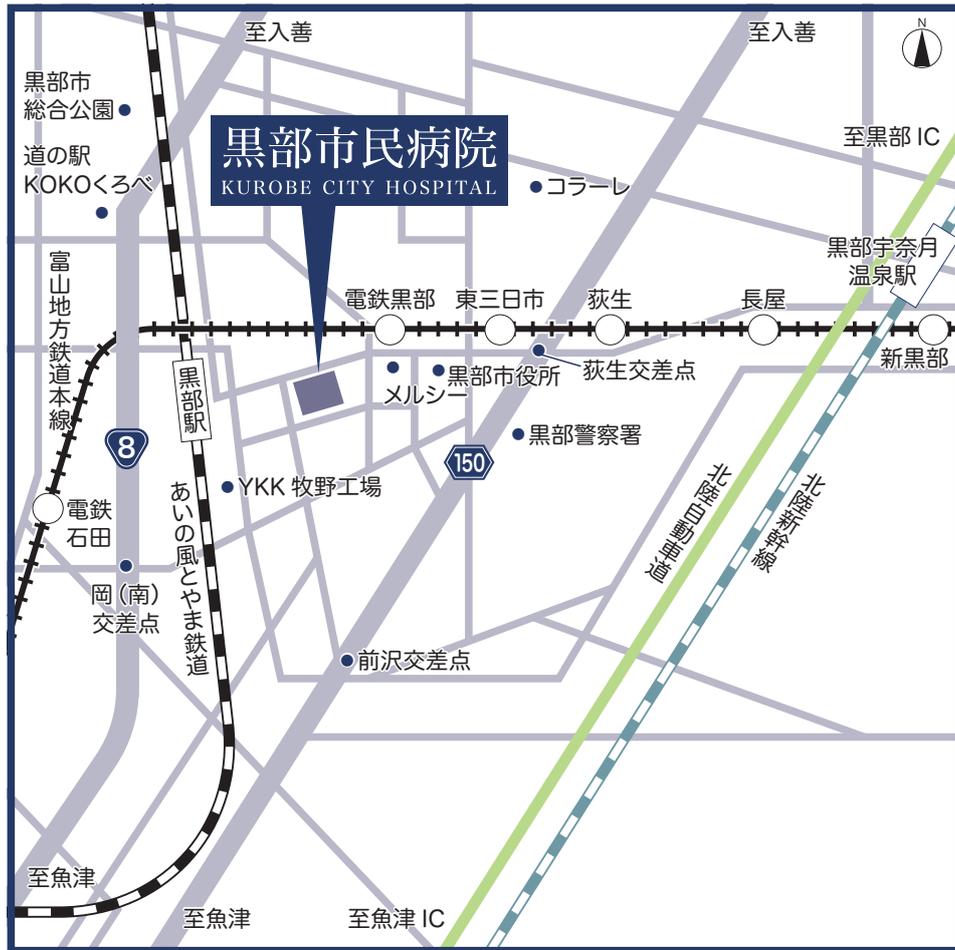


北棟 (旧 高度医療棟)

北棟 地下1階



交通アクセス



あいの風とやま鉄道 黒部駅から

徒歩：約8分 タクシー：約2分
 バス：各路線バス約2分 『市民病院』下車

富山地方鉄道 電鉄黒部駅から

徒歩：約6分 タクシー：約2分
 バス：各路線バス約3分 『市民病院』下車

北陸新幹線 黒部宇奈月温泉駅から

富山地方鉄道：『新黒部駅』約7分『電鉄黒部駅』下車
 タクシー：約10分
 バス：新幹線市街地線約16分 『市民病院』下車

北陸自動車道 黒部 IC から

自動車：約15分

北陸自動車道 魚津 IC から

自動車：約15分

駐車場のご案内



黒部市民病院
 KUROBE CITY HOSPITAL

〒 938-8502 富山県黒部市三日市 1108 番地 1
 TEL. (0765) 54-2211 FAX. (0765) 54-2962
 公式 HP <https://med-kurobe.jp/>

